

楽しみ

東京新冠会 幹事長

岩崎悟



日高山脈の麓で育った私は、子供の頃から農作業の手伝いをさせられ、農家は嫌でしょうがなかったときがあり辛い時など悩み自分の将来について考えたりしていました。

そんな時の楽しみに、釣りがありましたがいつでも行けるわけなく、雨が降ると農作業が休みになるので、雨の日はいつもより早く起きて近くの川に短い竹竿を担いで一目散、田舎の川には誰もいません予め用意してきた、ミミズ団子を棒に括り付け玉石がごろごろしている処を探し川底に沈めカジカを捕る準備し、しならぬ竹竿で出来れば大きい、イワナ、ヤマメを狙うも釣れないことが多くカジカを竹に刺して持ち帰った事が甦ります。

上京して20数年過ぎたころ知人に、釣りに行かない?と誘われ汚い川に魚いるの、食べられるの、いや川でなく海だよと言われ海釣りは初めての事なので、戸惑いながらも同行することに、すべて借り物で船酔いをしないように準備をして本番に臨み、細かな注意をうけ糸を垂らすとすぐ釣れたが、引きが強くすぐに糸を巻かなかつたため、周りの何人も糸に絡まり大変なことになり迷惑をかけ叱られ、何度も経験している内に楽しくなつて、釣り道具を買い進んで、釣りに行くようになります。外房等へ、最近は竿も上等なものになり電動リルで深場に行くことも度々、三宅島、八丈島、へシマアジ、カンパチ、ブリ、等大物狙いに出かけます。



三波春夫が歌う「おたる潮音頭」に合わせて踊る小樽夏の最大イベント「おたる潮まつり」が今年も7月29日から31日の三日間開催された。

昭和34年にスタートしたこの催しものは今年で第50回を迎える。初日の踊りの美しさで魅了する「潮ふれこみ」は生憎小雨に祟られたが花火大会が始まる頃にはすっかり晴れ上がり久々に小樽港の空に打ち上げられた大輪の華

日曜

第50回「おたる潮まつり」に参加して

東京小樽会 会長 清水川 治二



第6回「東京ニセコ会」の集いは去る5月22日に開催されました。第1部を国會議事堂見学、第2部は「スクワール麹町」での集いという内容でした。各ふるさと会の役員をされている方たちの共通の悩みでもあると思うのですが、「東京ニセコ会」も役員の高齢化と会員の減少に悩まされているところです。総会に出席していただける人数を、例年並みに確保したいというのが最大の課題でした。そこでニセコ町出身の

衆議院議員逢坂誠一氏にお願いして、国會議事堂の見学という新しい趣向を試みました。当日は逢坂氏の秘書の谷口真弓さんと合流し、総勢19人が見学をしました。国會議事堂は1920年から1936年まで17年間もかかる建設され、ほとんどが国産の建築材料で作られたとのことです。今や到底手に入らない材料ばかりとか。建築の細部まで彫刻が施され、吹き抜けにはステンドグラスが煌めき、廊下の赤じゅうたんもふかふかと高

日曜

とんど照明が薄暗いのが残念でしたが、見学した皆さんはとても喜んでくださいました。見学終了後、メトロで四ツ谷にある会場に移動して、集いに出席しました。昨年並みの出席人数を確保できたのは、イベントのおかげかなと役員一同ほっとしましたし、来年も皆さんに喜ばれるイベントを催したいと話し合っています。



NOCRA

Hokkaido Craft

旭川クラフトのお店

NOCRA (ノクラ)

東京都台東区上野5-9 JR山手線高架下

2K540 AKI-OKA ARTISAN I-1

TEL03-6806-0443・FAX03-6806-0440

本社



株式会社 ササキエ芸

北海道旭川市永山14条3丁目4-10

電話: 0166-25-2288 / FAX: 0166-22-2101

級な感触で、

何もかも素晴らしいの一言でした。日曜

とんど

照明が

消されていて

とんど

照明が

消されていて